

事例 6 学校行事「(5) 勤労生産・奉仕的行事」の事例

- 学年 全校児童
- 主な内容 他者と協働し、学校のために進んで取り組む清掃活動
- 事例のポイント
 - ①縦割り班のめあてをもとに協働して清掃活動に取り組むことができるようにする。
 - ②教員の評価について共通理解を図る。
 - ③活動後に児童が適切に振り返ることができるように視点を定める。
 - ④学校行事の学習過程において効果的にICT端末を活用する。

1 行事名 「全校クリーン作戦」

2 本行事設定の理由

本校では、年間1回、家庭・地域の協力の下、全校で行う清掃活動として「全校クリーン作戦」をしている。「全校クリーン作戦」を実施するに当たり、学級活動(3)で日常での当番活動等について、自分たちの目標を設定して取り組むことを全学年で学習し、実践を積み重ねている。また、家庭や地域に協力を依頼し、家庭・地域とともに全校清掃活動に取り組んでいる。これまでの活動を通して、児童からは「自分たちが掃除した場所がきれいになったと喜んでもらった。」「私たちだけじゃなく、お家の人や地域の方が協力してくれていることを知った。」などの感想があり、勤労の尊さや社会奉仕の精神を体得することにつながっていると考える。

本行事では、集団への所属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成につながるよう、縦割り班を活用してクリーン作戦を実施している。この行事を通して、目標をもち、協働して活動に取り組み、上学年はリーダーシップを発揮し、下学年は上学年の手を借りながら、全校クリーン作戦の目的である「勤労、社会奉仕の価値や必要性を体得させ、よりよい社会を形成しようとする自主的、実践的な態度」や「自分や友達のよいところを見付けようとする態度」の育成を目指していく。

3 学校行事(5) 勤労生産・奉仕的行事の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
勤労や生産の喜び、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う意義について理解し、活動の仕方について必要な知識や技能を身に付けている。	学校や学年の一員として、よりよい学校・社会にするために、自他のよさを生かし、よりよい勤労や生産の在り方、働くことの意義や社会奉仕について考え、実践している。	学校や地域社会のために役立つことや働くこと、生産すること、他者に奉仕することに関心をもち、見通しをもったり振り返ったりしながら、勤労生産・奉仕的行事に積極的に取り組もうとしている。

4 事前の活動

○縦割り班で地域とともに全校クリーン作戦を行う際の教師の配慮事項の確認。




- ① 年度初めに学校便り等で保護者等に周知すること。
- ② PTA や地域の代表者等に縦割り班で行うことを周知し、全校クリーン作戦への協力を依頼すること。
- ③ 清掃活動の範囲については、縦割り班で行うことから、児童の安全が保てるよう学校周辺での活動とすること。

事例のポイント①
縦割り班のめあてをもとにした個人目標を設定する。

○縦割り班で会議をもち、班ごとに活動内容を確認し、活動の計画を立てる。

- ・業前(仲よしタイム等)の時間で「縦割り班」での会議の時間を設定し、班ごとに活動内容や方法について話し合い、決定する。
- ・決定した班のめあてや方法については、給食時の全校放送を利用し、各縦割り班の班長から報告し、学校全体で意欲的に取り組む雰囲気醸成する。
- ・決定した縦割り班の活動計画については、班長がICT端末の学習管理ツールのコミュニケーション機能を活用し、共有及び配信する。班員は、当日までに自分のめあてを決定し、学習管理ツールのコミュニケーション機能を活用し、共有・配信できるようにする。
- ・ICT端末の活用に関しては、情報モラル等、教師の適切な指導の下、目的外で使うことがないように、全教職員で共通理解を図る。

5 当日の活動（木曜日5時間目に実施）

児童の活動	時刻	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
1 校庭に縦割り班ごとに集合する。	1 3 : 4 0	・班長を中心に整列する。完了次第、担当教師に報告する。 【めあて作成における当日までの事前準備 3点】
2 はじめの会 ・校長先生の話（地域の方の紹介） ・代表委員より挨拶 ・注意事項の確認（特別活動主任より）	1 3 : 4 5	① I C T端末に縦割り班のグループを設定する。 ②班ごとの活動計画については、事前に第6学年が考え、設定したグループ内に伝達する。 ③グループ等のめあてについては、当日までに設定された縦割り班のグループ内に提出する。
3 班ごとのめあてや活動方法を確認する。	1 3 : 5 0	・活動への意欲を高めるため、当日までに提出された班のめあてや活動方法を確認する。
4 活動を開始する。	1 4 : 0 0	・振り返りの資料として I C T端末で活動記録を残しておく。 ・事前に教職員で共通理解した視点をもとに児童の活動を評価する声かけを行う。 <声かけの視点（教師の共通理解）>
 【活動の様子 ①】		①めあてに沿った個人の頑張りを認める。 ②班で協力している場面を見つけたら具体的に褒める。 ③最後まであきらめず取り組もうとする姿勢を認める。
 【活動の様子 ②】		◎めあてに沿って清掃活動に取り組んでいる。 【思・判・表】（観察）
		 【活動の様子 ③】
5 おわりの会 ・めあて達成の確認 ・感想発表 ・保護者・地域の代表者から ・校長先生の話	1 4 : 2 0	・班ごとに決めためあてについて確認し、教師が見届けを行う。 ・保護者・地域の方から感想をいただく機会を設け、児童が学校や地域のために役立ったという実感をもたせる。
6 片付け・あいさつ	1 4 : 2 5	・振り返りの資料として I C T端末で活動記録を残しておく。 ・事前に教職員で共通理解した視点をもとに児童の活動を評価する声かけを行う。

事例のポイント④
I C T端末を活用し、個人のめあてを設定、集約する。

編 P201
指導計画作成の留意事項（5）

事例のポイント②
共通理解を図るため、めあてに沿った評価の視点を示す。

A君、ここは掃除が大変だから手伝うよ。

Bさんありがとう
ここが終わったら、僕は〇〇を掃除するよ。

Aさんは、友達を手伝うこと、B君は、終わりまで掃除するところを見つけて頑張るという目標ができていますね。

編 P201
指導計画作成の留意事項（4）



6 事後の活動

児童の活動	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 振り返りカードをもとに、自分の頑張りについて振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・事後の活動は、翌日金曜日の長い昼休み(清掃なし30分程度)を設定して行う。(振り返りを充実させる観点から1時間で実施することも考えられる。) ・振り返りを充実させるため、ICT端末を活用して、活動の記録を視聴する。 ・視聴する際に教師から以下のポイントを示す。 <ul style="list-style-type: none"> ①自分のめあてに沿って活動していたか確認する。 ②友達と協力している場面や声をかけている場面に注目する。
2 感想発表をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の視点で振り返るよう助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ①この活動を通して自分が成長したところ ②この活動を通して友達が頑張っていたところ ③この活動を通してこれから頑張っていきたいところ ◎振り返りの視点に沿って、自分の成長や友だちの成長に目を向け自分の活動を振り返っている。【態】(振り返りカード)
3 担当教師の話	<p>【地域の声】</p> <p>みんな本当によくがんばっていました。特に高学年の皆さんは、下の学年の面倒を見ながら大変だったと思いますが、頼もしかったですよ。</p>

編 P201
指導計画作成の留意事項(1)

事例のポイント④
視聴のポイントを示し、目的をもって視聴する。

事例のポイント③
視聴のポイントを示し、振り返る。

編 P201
指導計画作成の留意事項(5)

編 P201 指導計画作成の留意事項(2)

【資料1】めあてカード(活動前と活動後 A4 1枚)

ぜん校クリーン作せん めあてカード
ばしょ (ジャングルジムのまわり)

ねん 年 ぐみ 組 なまえ 名前【 】

【かつどう前】

1 はんのめあて

- ・ジャングルジムでみんながケガしないように小さな石やえだも、のこさずひろおう。
- ・みんなできょう力してとりくみ、自分と友だちががんばっているところを1こずつ見つけよう。

【活動前】 2「自分のめあて」について
①低学年・・・自分が頑張ることを書く
②中・高学年・・・自分が頑張ることや友だちと協力するためにできることを書く。
※特別な配慮を要する児童に対しては、本人と相談のうえ、①と②が自分で選択できるよう配慮する。

2 自分のめあて(例文は低学年)

- ・ぼくは、ジャングルジムのまわりにある小さな石を50こ、えだを30本あつめます。そのためにぼくはだまってそうじをします。

編 P201
指導計画作成の留意事項(1)

特別な配慮を要する児童に対しては、自分の好きなマークやサインで評価させる。どちらを選択するか、あるいは両方やるかは本人が選択できるよう配慮する。

【かつどう後】

3 かつどうをふりかえろう

ふりかえり	たっせいど (◎ ○ △)
①自分のめあてをたっせいできた。	◎
②友達のよいところを見つけれられた。	◎

できたかな?

【自分ががんばったこと】	【はんのなかががんばっていたこと】
ぼくは、きょう小さな石を51こ、えだを32	6年生のおにいさん、おねえさんが、大きな
本ひろうことができました。地いきの人から	ごみをいっぱいひろっていました。ぼくもおに
「たくさんひろったね」といわね、うれしかっ	いさん、おねえさんみたいになりたいなとおも
たです。	いました。

・低学年については、自分の頑張りや班の仲間が頑張っていた場面を記述すること、中・高学年については、自分の成長した部分や、仲間が頑張っていた場面を具体的に記述するなど、発達の段階に応じて書く内容を設定する。
・特別な配慮を要する児童に対しては、児童の実態によって「自分が頑張ったこと」のみの記述でよいこととする。自分で書くか、担当教師が聞き取って代筆するかは、事前に担任教師とよく確認しておくこと。